

# 令和2年度 木島平村立木島平中学校グランドデザイン

## 対話し、自己の生き方を深める生徒

「協同する学び」によって、友との互恵的な関係の中で、人間関係の構築と学力向上を図ります。

日常的な活動や行事における役割と分担を、生徒の創造性に委ねることによって、自ら「創る」感覚を醸成し、自己実現につながるエネルギーを引き出します。

年6回の自主公開学習検討会を研修の柱とし、生徒が「自己の深まり」を感じる授業ができるよう、教師は各自の課題を明確にしなが授業力の向上をめざします。

総合的な学習の時間において、地域課題をテーマに、仲間と協働しながら新しい価値を創造・発信する力を醸成します。

生徒の思いや学びの深まりを感じることができるよう、生徒の学びの事実を基に、研究協力者を招いての研修授業や授業記録を用いて行うリフレクション等を重ねます。

学級や学年の枠を超えた清掃や音楽集会等の各種集会を実施し、他者を大切にする木島平中学校の伝統を受け継ぐ気風を大切にします。

**自己の深まりを感じる力**  
対象に対する思いを抱き、学びを通してその深まりを自覚できる生徒

**自主的・実践的な態度**  
集団に働きかけ、集団にある喜びを感じる生徒  
◇き・じ・ま

**関係をつくる力**  
自らをひらき、他者を受け止める生徒

放課後の学習や長期休み期間中の補習を実施し、学力の向上を図ります。

SSWやSC等との連携、各種アンケートや年3回の教育相談を実施し、生徒一人一人に寄り添った安心安全に過ごすことができる学校づくりを推進します。

「家庭学習の手引き」を作成し、家庭学習を授業と関連づけ、学ぶ意欲を高める家庭学習を推進し、家庭と連携して自ら探究する生徒の育成を推進します。

学校運営協議会と連携して、家庭や地域の方々が小中一貫教育に参画できる環境を整え、「自己の生き方を深める生徒」を支えます。

**重点1**  
自己と対象との対話を通し、自己を深めていく生徒の育成

**重点2**  
「為すことによって学ぶ」学校生活・生徒会活動を推進する生徒の育成

**学校教育目標** 心と体をひらいて学ぶ生徒  
対象（ひと もの こと）・友・自己との対話を通して、自己の生き方を深める生徒

**学校教育の充実を図る基盤 1**  
「協同する学び」でつなぐ一貫教育の持続発展

**学校教育の充実を図る基盤 2**  
木島平型コミュニティ・スクールの充実